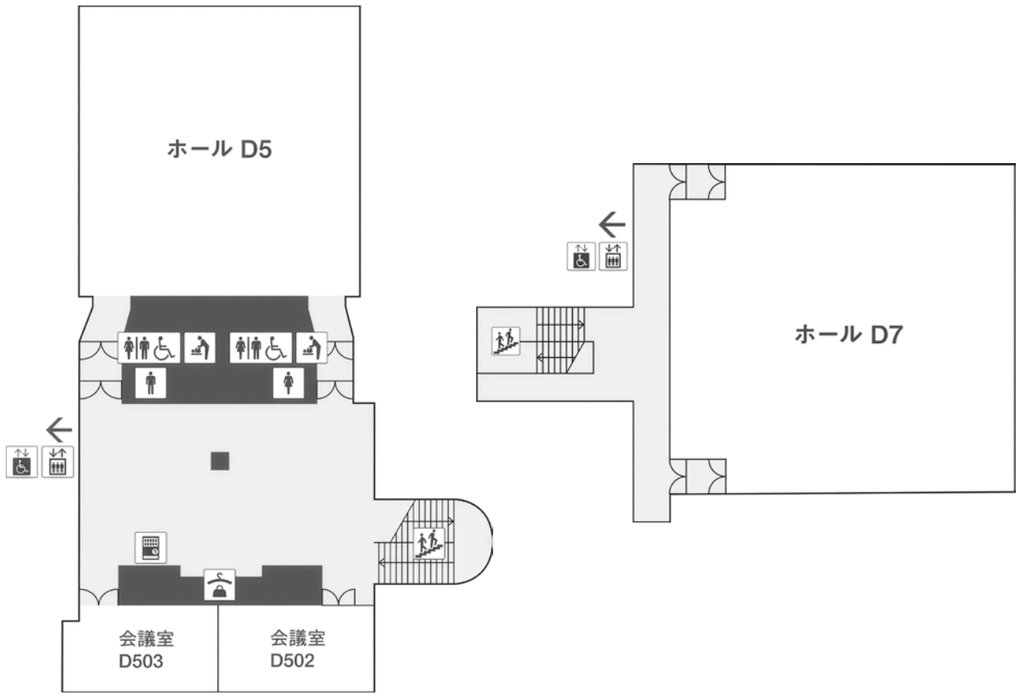
フロアマップ



階段 Stairs
トイレ Toilet
おむつ替え台 Diaper change station
クローク Cloakroom
エレベーター Elevator
バリアフリートイレ Barrier-free toilet
自動販売機 Vending machine

※トイレの男女の別は催事により運用が変わる場合があります。
※喫煙所・クローク・カフェ等は催事によりクローズする場合がございます。

Use of men's and women's toilets may be changed during events.
Smoking booths, cloakrooms, and cafés may be closed during events.

公式ウェブサイト・SNS等

ウェブサイト　X　Facebook　YouTube　Instagram

防災庁

防災立国シンポジウム2026

～防災庁始動、この国の防災はどう変わるか～

令和8年11月13日（金）開催

於　東京国際フォーラム　ホールD5・ホールD7

防災庁



防災立国シンポジウム2026 ～防災庁始動、この国の防災はどう変わるか～



災害は、なくせません。地震も、火山噴火も、豪雨も、台風も。
この国はこれからも、自然とともに生きていきます。
そんな災害大国・日本の防災をより一層前へ進めるために。
日本の防災に、新たな可能性を。
防災庁が司令塔となり、その一歩を踏み出します。

防災庁は何をするの？

防災庁は、災害が起きたときだけ動く組織ではありません。
防災に関する基本政策や国家戦略を立案し、
災害が起きる前から備えを進め、
発災時から復旧・復興まで、切れ目なく支え続ける。
産官学民それぞれが持つ力を連携させ、
日本の防災をかえていく司令塔。
守る力を、つないでいく。それが、防災庁です。

事前防災



- 防災対策の企画立案
- 防災人材の育成
- 防災技術の研究開発・実装 など

災害発生時の対応



- デジタル防災技術の徹底活用
- 避難生活環境の確保
- 円滑かつ迅速な情報発信 など

復旧・復興



- 被災者の支援
- 生活・なりわいの再建
- 被災地ワンストップ窓口 など

プログラム

令和8年11月13日（金）開催　於　東京国際フォーラム　ホールD5・ホールD7

13:30~14:30	受付／入場	
14:30~14:35	主催者挨拶（対面またはビデオメッセージ）	防災大臣（予定）
14:35~15:35	基調講演 ～防災庁設置の意義や役割について～	長橋 和久　防災庁事務次官
15:35~15:45	休憩	
15:45~16:15	スペシャルトークセッション	福和 伸夫　名古屋大学名誉教授 常盤 貴子　俳優 長橋 和久　防災庁事務次官
16:15~16:20	休憩	
16:20~17:50	パネルディスカッション（2セッション同時開催）	
17:50~17:55	閉会挨拶	長橋 和久　防災庁事務次官

登壇者紹介

基調講演



長橋 和久
防災庁事務次官

愛媛県出身。1989年3月京都大学農学部卒業。
同年4月に建設省（現国土交通省）へ入省し、以来、道路、住宅、不動産、建設業界など、国土交通行政の幅広い分野に携わる。
大臣官房人事課長・総務課長を務めた後、道路局長、不動産・建設経済局長、総合政策局長を歴任。
2024年4月には、同年1月に発生した能登半島地震を受けて内閣官房に新設された復旧・復興支援総括官に就任し、被災地の復旧・復興に向けた政府全体の取組を統括した。同年7月からは災害対処・救援総括官を、11月からは防災庁設置準備室長代理を併任し、防災体制の強化に向けた準備に携わる。
そして2025年7月には防災担当の次官級ポストとして内閣府に新設された「防災監」に初めて就任。在任中にも、令和8年熊本地震や千葉豪雨など数多くの災害の対処に当たり、防災庁発足後の2026年11月から初代「防災庁事務次官」を務める。

スペシャルトークセッション



福和 伸夫
名古屋大学 名誉教授

愛知県出身。名古屋大学工学部建築学科を卒業後、名古屋大学大学院工学研究科博士課程前期課程を修了。その後、清水建設株式会社、名古屋大学工学部建築学科助教授、名古屋大学先端技術共同研究センター教授、名古屋大学大学院環境学研究科教授などを歴任し、2022年より現職。
日本地震工学会会長、あいと・なごや強靭化共創センター長等を歴任、産学官が連携する場である中部防災推進ネットワークの設立にも尽力。
防災全般、建築耐震工学、地域防災を専門とする。
主な公職歴として、防災庁設置準備アドバイザー会議主査、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ主査、国土強靭化推進会議委員、一般財団法人防災体制抜本的強化本部ゲストスピーカー、内閣府大規模地震防災対策推進検討委員会委員などがある。



常盤 貴子
俳優

神奈川県出身。1991年に俳優デビュー。
『愛していると言ってくれ』『Beautiful Life』など数々のヒットドラマのヒロインを演じる。
2004年に映画『赤い月』で日本アカデミー賞優秀主演女優賞、2015年に映画『野のななのか』で高崎映画祭最優秀主演女優賞を受賞。
現在、NHK Eテレ『おとな時間研究所』に司会として出演中。
エッセイ『常盤貴子のリュックひとつで大人のひとり旅』が主婦の友社より12月11日に発売予定。

地域の防災力強化に向けた行政組織の在り方について（ホールD5）



〈コーディネーター〉
加藤 孝明
東京大学生産研究所

行政間の連携と地域防災力の強化に向けた課題、そして今後の在り方について議論します。災害の規模に応じて都道府県と市町村はどのように役割を分担し、国難級の大規模災害では行政組織間でどのように支え合うべきか。その基盤となる自助・共助による地域の防災力をいかに高め、それを担う防災担当職員や地域の防災人材をどう育てていくか。登壇者の取組を基に、防災庁に期待される役割を展望します。



濵田 省司
高知県知事



大西 一史
熊本市長



矢守 克也
京都大学防災研究所
副所長



阪本 真由美
兵庫県立大学教授

産官学民連携を通じて日本の防災はどう変わるのか（ホールD7）



〈コーディネーター〉
廣井 悠
東京大学 教授

産官学民の連携による災害対応の今後について議論します。大規模災害が頻発する中、行政だけでは対応しきれない課題に対し、企業の技術・ノウハウやNPOのきめ細かな被災者支援は欠かせない力となっています。実効性のある官民連携や災害関連死の防止に向けたNPOと行政の連携、多様な主体が継続して防災に関わるための仕組み、日本の防災技術の海外展開を議論し、防災庁に期待される役割を展望します。



堀 幸子
日本経済団体連合会
危機管理・社会基盤強化
委員会企画部会長



西口 知宏
一般社団法人
日本防災プラットフォーム
代表理事



栗田 暢之
JVOAD 代表理事



臼田 裕一郎
防災科学技術研究所
社会防災研究領域長

ほか防災庁幹部登壇予定